

JFEシビル

16年度目標

経常益10%増

売上高も過去最高の850億円

JFEシビル(社長・藤井善英氏)は2016年度の連結売上高850億円(前年比20・5%増)、経常利益55億円(同10%増)と

いずれも過去最高の更新を目指す。17年度を最終年度とする中期経営計画で掲げる連結売上高1千億円へ向け「システム建築の売上高を全体の2割以上とすることが達成の力



同社の15年度の連結

売上高は705億円、経常利益50億円で経常利益は過去最高を更新した。今期は2割以上の売り上げ増を目指しているが「16年度開始から2カ月で達成への手応えを感じている」とする。

建設業の労働環境が厳しさを増す中、重要になってくるのは「工業化や標準化などであり、その特長を持つのはまさにシステム建築。短期期やコスト競争力、施工などに要求される技能水準もそこまで高くない、今後の建築業を考えると強いフォロワーインパクトが吹いている」と(同)とする。

同社のシステム建築事業をめぐっては、一柱一杭工法「いちいち基礎工法」が威力を発揮しており、実績は1

15件に上る。今年に入り、受注もしくは受注確実な案件54件のうち、26件で同工法が導入されている。工法の改良を重ねており、表層地盤を改良することで杭頭変位を抑えた「表層部分改良いちいち基礎工法」を開発し、食品工場で採用されている。

また、杭の中に鉄骨柱を挿入しコンクリートを充填して柱一杭接合部を構築する大重量

・大型構造物向けの「いちいち基礎工法」も4階建てマルチ大型物流倉庫で試設計してコストを検証している。今後、新タイプの高性能座屈拘束ブレース「J-UPブレース」の販売強化や、工場・

平鋼4.0m定尺 販売中
 平鋼・角鋼・広幅平鋼
西村鋼業株式会社
 お問い合わせ・ご注文
 047(352)3181 (鉄鋼部)
 0278(58)2460 (北関東支店)
 0467(78)0211 (神奈川支店)
 0223(29)2460 (東北支店)
<http://www.nishimura-kogyo.co.jp/>

配送センターの受注に注力するなどニーズに応え、受注拡大につなげていきたい考え。